

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社あつまるホールディングス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・2016年にブライト企業の認定を受けている。			3	4					8	9			12								
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物処理によって出る有害物質の削減の為、残餌や、蚕のフンを天竺桑園の肥料として活用している。 ・工場排水は法規に従い処理し、環境へ配慮をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4			14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車の使用ガソリン量は徹底し管理している。 ・ゴルフ場コース内のカートの電動化でCO2削減に取り組んでいる。 ・利用者数に応じ、クラブハウスの大浴場の稼働を管理し、電気利用を抑制する。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年の3月までに温室効果ガスの排出量の算定を行い、抑制に取り組む。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ゴミの分別、プラスチックのリサイクル、レジ袋などの使用量削減に努めている。						6.6										14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス、ゴルフボールのリユース、鉛筆の再利用、裏紙利用などを促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・機密文書の溶解処理の水は100%リサイクルの水を使用している。 ・ホテル事業部では利用者のニーズに合わせて浴場を稼働し、節水に取り組んでいる。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6				11.5					14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・あつまる山鹿シルクは、環境に配慮した開発を行っており、有機JAS認証を受けている。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・ゴルフ場事業部において、食品在庫管理を徹底し無駄のない発注、食品ロスの削減に取り組んでいる。		1	2				6.4							12.3			14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・あつまるレークカントリークラブ、あつまる阿蘇ゴルフ倶楽部を有しコース内の森林保全に努めている。 ・所有建物の屋上・テラスは可能な限り緑化スペースとして活用促進する。													11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・ゴルフ場のコースに隣接した大規模な太陽光発電でゼロエネルギー化の推進に取り組んでいる。									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・山鹿市内の耕作放棄地、遊休農地を、桑園として造成、優良農地として植栽に取り組んでいる。						6					9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・山鹿市内の耕作放棄地、遊休農地を、桑園として造成、優良農地として植栽に取り組んでいる。							6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復取り組みを行っている。 ・ペットボトルのキャップを集めリサイクルしている。															12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・通勤時は公共交通機関の利用徹底している。 ・マイカー通勤者についても、エコカー利用を推奨している。											9.4			11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・【予定】営業活動に伴う移動手段(自動車・バイク)は今後、電動・水素自動車への切替を行っていく。 ・各事業所責任者定例会議のオンライン化をしている。										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社あつまるホールディングス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・山鹿ミルクでは品質維持のために作成プロセスなどのマニュアルを準備し、苦情など相談窓口の設置も行っている。			3.9							9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・あつまるレーク等の自社施設において誰もが利用しやすいよう段差を無くすなどのバリアフリーを取り入れている。 ・ココラボは日本語だけでなく英語表記の製品も販売している。									9.1	10	11.7									17			
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・ゴルフ場で提供する食事は地元の食材を積極的に使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17			
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15								
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・ゴルフ場にてお客様の使用済みボールを回収し、こども食堂設立基金にあてている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・養蚕の工業化で持続可能な農業への挑戦とイノベーションを推進している。 ・養蚕の周年無菌大規模プラントを立ち上げ、年間24回蚕を飼育するバイオ産業化を進めている。		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15					17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・ゴルフ場事業部にてお客様の使用済みボールを回収し、こども食堂設立基金にあてている。 ・従業員に対して地域での自治活動などを周知している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・災害などの緊急時にも連絡が取れるよう、緊急電話連絡網の他にメールでの一斉配信が可能な自社の緊急連絡システムを運営している。				4							11.5		13.1			16							
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・耕作放棄地だった場所に桑を植樹し、地域の災害に対する強靭化に取り組んでいる。 ・地域消防団の活動に7名参加している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17					
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1										
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・社内各事業部・部署からメンバーを選出しSDGs委員会の設立、社内ブログを使い全員での内容把握、情報提供を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・大学生のインターンシップを毎年、積極的に受け入れている。 ・小学校、中学校への出前授業、SSHへのサポートに取り組んでいる。				4					8.6		10.2										17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生を積極的に採用している。 ・地場企業の就職合同面接会の開催、熊本大学に県内就職相談室を設置し運営を行うなど地元採用を促進している。				4.4					8.5 8.6												17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・山鹿小学校と鹿北中学校と連携し、養蚕に関する出前授業を行っている。		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15					17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。